

事業所名

療育ルームりんごの木北園教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024

年

9

月

1

日

法人（事業所）理念	支援を必要とする地域で暮らす子どもやその家族に寄り添い、「子どもの最善の利益」の実現に向けた支援を目指しています。「子どもの最善の利益」を軸にしてチームで支援することを大切にしています。				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ◎一人ひとりの発達を見立て、ていねいな療育を提供します。 ◎子どもが安心感と信頼感を持って活動できるよう、子どもの主体としての思いや願いを受け止めます。 ◎様々な遊びや多様な体験活動の機会を提供することを通じて、子どもの自尊心や主体性を育てます。 ◎発達段階に合わせた子どもにとっての楽しい「遊び」を通して様々な力が身につくよう支援します。 				
営業時間	9時	0分	16時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	ねらい：日常生活動作の習得／生活習慣および生活リズムの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・スプーン、箸、ボタン、靴の脱ぎ履き等の練習 ・注意・集中等の特性に応じ見通しが持てるよう環境調整を行う ・保育園や幼稚園、他事業所に通われているお子さんが当事業所との並行通園に慣れ、療育が生活の一部に位置づけられることでスケジュールに伴う行動調整を促す 			
	運動・感覚	ねらい：手指の巧緻性の向上／感覚特性の理解と発達・統合 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚、触覚を使って感覚を刺激し、手元に注目して教材を機能的に扱う ・運動面、感覚面の特性に応じた教材や補助具を使用し、より良い学習を深める ・感覚特性の理解を深め、生活面に必要な配慮事項について検討する 			
	認知・行動	ねらい：認知の発達と適切な行動の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・標準化された発達検査、知能検査を使用し認知特性を評価する ・見本と手元を対比させる力を付け、知覚⇔運動のコントロール及び板書活動の土台を形成する ・色、形、順番等概念の理解を深め、分類、選択、マッチング等さまざまなルールに則って遊ぶ経験を通して、物と物との関係性を学びながら分かることとできることを増やす 			
	言語 コミュニケーション	ねらい：言語の形成と活用／非言語・言語によるコミュニケーションの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな遊びや活動を通して指さし、サイン、発声発語等コミュニケーション手段の使用を促し、人とやり取りする楽しさを学ぶ ・ことばによる属性、機能等の認識力を高め語彙を拡げる ・読み書きに関する認知特性を理解し配慮事項について検討する 			
	人間関係 社会性	ねらい：信頼関係の構築／社会性の発達 <ul style="list-style-type: none"> ・最後まで活動に取り組むことで得られる達成感や満足感を共有する ・褒められることで自信を付け自分で選択する喜びを味わい、活動への意欲や自己肯定感を高める ・他者意識の高まりによる模倣への意欲、共感することの楽しさを学ぶ 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの相談に対する助言を行う ・保護者会を実施し、生活状況や困りごとの共有を図る ・定期面談を行いお子さんの成長や課題について保護者と共有しプログラムに活かす ・家族支援プログラム（ペアレントプログラム、講演会、親子参加ワークショップ等） 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの発達段階に合わせて地域の保育・教育が受けられるよう移行先と連携を図る ・就学についての情報提供（就学相談）
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関各所との連携（相談支援事業所、幼稚園、保育園、子ども家庭支援センター、保健所等） ・連絡協議会への参加 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修の参加 ・資格取得の支援 ・キャリアパス導入により多角的な視点から職員の成長を支える
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てやことばの発達に関する講演会の開催 ・保護者会の開催 ・ワークショップの開催 				